



大 南

Contents

館長エッセイ 村松 茂美	1
特集:私が薦めるこの一冊	2~4
news news	5
informations	6
Data(利用統計)	7
staff column 上妻 圭子	8
図書館日誌	8



村松 茂美
Muramatsu Shigemi

図書館と読書と学生生活

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

いま、皆さんは、大学とはいったいどんなところだろうかと期待とともに不安もいだいていることでしょうか。しかし「大学がどんなものになるか」は、実は皆さん次第なのです。毎日バイトに明け暮れる学生と、学業に専念する学生とでは、大学のもつ意味はことなるでしょう。こんな極端の例をあげなくとも、ふつうに授業に出席し、ふつうに学生生活をおくる学生であるとしてもしかりです。しかし、どのような学生生活をおくるにしろ、図書館が学生の皆さんの生活において大きな位置を占めることを私たちは願っています。

熊本学園大学図書館は、現在76万冊の蔵書をほこる九州では有数の図書館に成長しました。この図書館の利用方法については、4～6月にかけて行われる新入生図書館ガイダンスにゆずるとして、この図書館で新入生の皆さんは一体何を読めばよいのでしょうか。皆さんはことなる学部、学科に所属し、ことなる「専門的な知識や技術」を学ぶこととなります。まずはそのような「知識と技術」に関する教科書、参考書を読み、その理解を確かなものにしなければなりません。このような「知識と技術」は将来皆さんが就くことになる職業に必要とされる「知識と技術」の基礎となるものです。原始の狩人が生きていくために弓矢をつかう技術と知識を身につけなければならなかったように、現代に生きる皆さんも現代の「弓矢の技術と知識」を学ばなければなりません。

しかしそれだけで十分なのでしょうか。地球温暖化、環境破壊、格差の深刻化など世界と日本をみわたせば、今、文明のあり方が根本的に問われているように思われます。そして、文明のあり方とは、人間の生き方、あり方でも

あるのです。わたしたちは、「現代の弓矢の技術」を学ぶだけでなく、「人間のあり方」も考えていかなければなりません。このような刺激をあたえてくれる読書こそ、まさに読書の醍醐味なのです。それではどのような書物を読めば、このような刺激をえることができるのでしょうか。実は、これも人それぞれです。ある人に深い感銘をあたえた書物が、別の人にはそれほどでもないということはよくあることなのです。自分自身でいろいろなものを読んでみる以外にありません。ある程度の「忍耐」をもって。というのは、私の学生時代とはことなって、皆さんのまわりには楽しいことがあふれているようだからです。私の学生時代には、暇つぶしといえば読書以外になかったのです。そこで昔よくいわれた言葉をみなさんにも言わなければなりません。Aller Anfang ist schwer (はじめはすべて難しい)。

日本列島に四季があり、季節とともにその風情が変化するように、図書館にも四季の風情があります。春には、新入生をむかえ、新鮮で生き生きとした雰囲気が。そこは出会いの場でもあります。夏は、春学期試験にそなえる学生の緊張感が漂います。秋は、枯れ葉散る木々をながめながら…この体験もまた学生生活の醍醐味なのです。



むらまつげみ

経済学部教授。2008年1月より図書館長。
【専門分野】 イギリス社会思想史

私が薦めるこの一冊

みなさんにとって図書館は学びの場。その学びのきっかけとなるのが、本との出会いです。人によって、本の読み方、感じ方はさまざまですが、どんな本でもきっとあなたに新しい気づきを与えてくれるでしょう。

今回の特集は、図書館委員の先生方と4名の学生さんに「お薦めの本」を紹介していただきました。



考えることを考える

『考える練習をしよう(子どものためのライフ・スタイル)』

(マリリン・バーンズ著 晶文社)

商学部 山田 美幸



「たいせつなことはね、目に見えないんだよ……」

サン=テグジュペリの名作

『星の王子さま』で有名なこの文章。目を通し、共感を覚えた人もい

るでしょう。インターネットが普及し、否が応でも情報が飛び込んでくる今日、私たちが物事を考え、判断する材料は、果たして、目に見えるもの‘だけ’でよいのでしょうか？

ちょっと待って！よく考えてみて？目に見えないもの‘だけ’が果たして大切なことなのでしょうか？

人間は、時々、自己流で物事を考えてしまいがちです。そして、知らぬ間に考え方が固くなってしまい、思考の壁を作ってしまうがちです。そして壁を避けようとした結果、下手したら、「都合のいいデータや情報だけを集めて、判断し、行動」しかできません。これは問題解決を図ろうとするとき、一番行ってはいけないことです。そのために、私は考えごとをする時、アンチテーゼという手法を用いることがあります。例えば「街の図書館は社会

に必要な」という主張に対して、「街の図書館は社会に(本当は)要らないんじゃないのか？」から考え始める。簡単に言うならば、逆の視点や立場から思考し始めるのです。

今回紹介する本は、「考えること」を考えるための本です。日常生活で遭遇しそうな身近なテーマをヒントに、物の見方はひとつきりではないことを教えてくれます。なにやら難しそうに感じられるかもしれませんが、私たちが意外に先入観だけで物を見がちであることに気づくでしょう。「むずびつかないものをむずびつけてみる」、「何が問題なのかをはっきりさせること」、「おもいつきだけじゃだめだ」、…考える力を肌で感じるにはちょうどいい本です。

最後に、‘全く’未知の分野について一通りの知識を得ないといけない時、私は場合によってはジュニア向けの本を読むことがあります。難しいことを難しい言葉で書かれたものを読んでも、珍紛漢紛では時間ももったいないですから。



大衆歴史小説への招待

『大菩薩峠』全20巻(中里介山著 筑摩文庫)

経済学部 小柳 公洋



世界で一番長い小説は何か知っていますか。マルセル・プルーストの『失いし時を求めて』も結構長いですね。しかしなんと驚くなかれ、『大菩薩峠』は原稿用紙1万5千枚に及ぶ「世界最大の大河小説」です。(片岡千恵蔵や市川雷蔵が、主人公机竜之介を演じて映画化されました。私はどちらの映画も見ました。)第一巻の出だしから異常な物語展開に魅了されます。「大菩薩峠の頂上で老巡礼を一刀のもとに切り棄てた机竜之介の無双の剣は魔剣と化し…」たのは、1858年時あたかも「安政の大獄」の年であり、その後幕末・明治維新前後にわたる一大物語が展開されます。

著者中里介山が、大正2年(1913)29歳で、都新聞、毎日新聞、国民新聞、読売新聞と書き継ぎ、昭和16年(1941)までほぼ29年を要して書き上げたものです。しかもなお

未完に終わっています。

『大菩薩峠』は物語展開の面白さもありますが、現代日本の直接的前提をなす幕末および近代日本の国家形成としての明治維新をはさんだ時代背景において、学校の歴史教育では習わなかった事柄が無数に出てきます。登場人物も多彩で、武士から盗賊にいたる。なかでも底辺を生きる庶民の活動が生き生きと描かれています。大衆小説の真骨頂ということでしょう。当時の庶民の風俗など民俗学的面白さもあります。

高校時代の受験勉強で疲れた頭を癒し、これから大学生として高校までの生活と区切りをつけるために、この小説を全巻読みきってみたらどうでしょうか。





私が薦めるこの一冊



中国古代の人々の生活を歌った詩

『詩経』(白川静著 中公新書)

外国語学部 西紀昭

著者の白川静氏は甲骨文字研究の世界的権威であり、『字統』『字訓』『字通』の字書三部作によって世に知られているが、この三書は文字の成り立ちを一般の人にもわかり易く解説したもので、世界でも希有の字書(辞書ではない)である。

白川静はその古代文字研究の成果にもとづいて多くの中国古代に関する一般向けの解説書を世に問うている。『孔子伝』『漢字』『中国の古代文明』『金文の世界』『甲骨文の世界』『詩経』等いずれも新書版で読みやすい本である。

これらの中で、特に『詩経』を薦めたい。古代文字の研究から古代人の生活や思想まで解明し、これまでの伝統的な詩経解釈の無味乾燥さを一新し、古代人の生活と感情を実に生き生きとよみがえらせた詩経の解釈を展開している。例えば《標有梅》という詩は結婚をあせる女

の気持を詠じたものと解釈されてきたが、白川によれば、古代中国には女性が男性に果物を投げつけて求婚する習慣があり、この投果求婚の場面を歌った明るい歌であるということになる。

その他にも古代人の天真爛漫な恋を歌った作品が数多く紹介されている。伝統的解釈によれば、そのほとんどが恋とは無関係な歌とされてきたものである。

一例をあげてみよう。《褰裳》という詩、

子思思我 褰裳涉澗 子不思我

豈無他人 狂童之狂也且

私を愛してくれるなら、一緒に河を渡りましょう、もしも愛してくれぬなら、他に男がいないわけじゃないし、アホのパカ。

他にも現代人と変わらぬ古代人の恋愛生活が数多く歌われている。ストーリーの歌までであるのは驚きである。是非、御一読を。



実践記録は学びの宝庫

『3歳 つぶやきにドラマを見いだして』(丸尾ふさ著 旬報社)

社会福祉学部 宮里 六郎



保育や福祉や教育など人間に直接関わる実践科学は、働きかける対象への「共感的な理解」と「実践と理論の結合」が求められます。そのためにはまず現場に出かけて対象とかかわりながら実感的に理解すること。同時に、実践と理論を結合するために「実践記録」を読むことを勧めます。

実践記録は、研究者など第三者ではなく実践を実際に行った実践者自身が書いたものです。対象に焦点をあてた観察記録とちがって、実践者の対象者への関わり方に焦点をあてたものです。実践記録は対象者に対する自分の働きかけを自分の考えを含めて書いたものです。つまり実践者の思いが語られています。

『3歳 つぶやきにドラマを見いだして』は、第一に子どものつぶやきや表情そして保育者のことばかけなど保育の場面がまるで目の前で行われているように具体的に

描き出されています。それ故保育を経験していなくても保育の実際がイメージできます。第二に、子どもをどうとらえているか、なぜそのような言葉かけをしたのか、保育者の内面が余すところなく書かれています。それ故実践者の視点で保育を考えさせられます。第三に何よりも、最後の数行に実践の意味づけが実践と理論をつないでまとめられています。それ故実践と理論とつなぐ視点が見えてきます。言い換えれば実践の先に理論が見えてくるのです。

実践記録は、実践者を目指すものにとって学びの宝庫です。是非自分に関連する分野の実践記録をまず一冊手にとって読んでみてください。



私が薦めるこの一冊

特 集

special
feature

商学部
第一部
商学科
4年
坂口佳代

読書から学べること 『冷静と情熱のあいだ—Blu』(辻仁成著 角川書店)

私が図書館でお薦めする本は、『冷静と情熱のあいだ—Blu』という本です。『冷静と情熱のあいだ』は映画化もされており、以前大変話題になっていたので読んでみようと思いました。

あらすじとしては、主人公の順正は腕のいい修復士としてイタリアで働いており、大学時代に付き合っていたあおいのことをずっと忘れられずにいます。2人は別れた後一切連絡も取らず、お互いにどこで何をしているのかもわからない状態でした。2人は付き合っていた頃、もし別れていたとしても、10年後のあおいの誕生日にフィレンツェのドゥオモの屋上で会おうと約束していました。そして2人は10年後に約束の場所で会うことができたのかという内容です。

この本を読んで、主人公が昔の恋人のことをいつまでも忘れられず、想い続けているところがとても印象的だと感じました。また、約束の日の場面では2人が会えるのだろうか、会えてほしいと、自分もドキドキしながら読んでいました。この本から、恋愛の難しさを学ぶことができたと思います。

また、この本は順正の視点で書かれた本であり、あおいの視点から書かれた本もあるので、そちらも読んでみたいと思いました。

私はこの本を図書館で読んでいたのですが、図書館は静かで室内温度も快適であり、本を読むのに最適な場所だと改めて思いました。これまで私は図書館はテスト勉強やレポートをすることが主で利用していましたが、これからはたくさんのお本も図書館で読みたいと思いました。



経済学部
リベラル
エッセイ
2年
澤野和人

法律事始 『伊藤 真の憲法入門—講義再現版』(伊藤 真著 日本評論社)

本学では法律系科目の講義が開設されていますが、新入生の皆さんは、大学で初めて法律を学ばれることだと思います。どのような科目なのか、イメージを持っていない人が多いのではないのでしょうか？

そこで、『伊藤真の憲法入門—講義再現版』をお薦めします。はじめて法律を学ぶ人を想定し、身近な具体例をあげ、かつ口語体で読みやすく書かれていますので「法律がわかる！」という感動が味わえると思います。

もちろんこの本だけでは不十分ですが、これからどのようなことを学ぶのかを頭に入れておくだけでも、勉強がしやすくなります。いわば準備運動のようなものです。皆さんがつまづくことなく、法律の道を楽しく歩んで行かれることを願います。



外国語学部
英米学
3年
東方 紘章

20世紀の名作を味わおう 『Wuthering heights(嵐が丘)』(Emily Brontë著 Oxford University Press)

ジブシーの子供であるヒースクリフは、荒野に立つアンショア家の屋敷の主人・アンショアに拾われ、ヒンドリー、キャサリン兄妹とともに育てられた。特にキャサリンと仲の良かった彼だったが、養父であるアンショアが死去した日に境に、ヒンドリーに虐待されるようになる。一方、キャサリンはリントン家のエドガーと親密になり、やがて婚約。ヒースクリフとキャサリンの互いを強く求め合う愛とすれ違うそれぞれの想い。そこから全ては混沌の渦へ…。著者のエミリー・ブロンテは1818年に生まれ、生涯を通して詩や散文の執筆に励んでいたが、喘息を患い30歳の若さでこの世を去る。この『Wuthering heights(嵐が丘)』は彼女が手掛けた唯一の長編小説である。

図書館の「英園」コーナーには、世界の名作(英文のペーパーバック版)が実に多数揃っています。語学学習としても利用できて、楽しみながら英文に触れることができるのでオススメです。是非試してみてください。



社会福祉学部
第一部
今村真耶
3年

視点の改革してん? 『博士の愛した数式』(小川 洋子著 新潮社)

皆さんは毎日楽しく過ごしていますか? 「面白いことはないかなあ」なんて考えていませんか? もし考えているなら、今度からあなたの物事を考える視点や、考え方を変えてみてください。きっと、今までとは違ったことを感じることができると思います。それを私に気付かせてくれたのが、『博士の愛した数式』でした。

最近の私は、大学生活にも慣れ、毎日をただ漠然と過ごしていました。そんな時にこの本を読み、自分の視点や考え方を変えるだけで、毎日の生活の中にある今まで気づかなかった新しい「何か」に気づき、発見する楽しさがあるということを学びました。

毎日が退屈だと感じた時は、この本を読んであなたの視点の改革をしてみてください。



学生懸賞論文選考結果



平成19年度学生懸賞論文は14篇(内2篇は共同執筆)の応募があり、図書館委員会委員と専門審査委員による審査を経て、入選5篇、佳作4篇、奨励賞5篇の選考結果となりました。

表彰・賞金授与式は、12月12日(水)15時から図書館AVホールで、宇野館長をはじめ論文審査にあたった教員、関係者が出席し執り行なわれました。表彰式に引き続き、入賞した5篇の執筆学生が論文を作成するにあたっての問題意識や苦勞などについて、緊張しながらも懸命にスピーチしました。

なお、入賞論文は、「平成19年度学生懸賞論文集」として平成20年2月に刊行され、図書館3階研究紀要コーナーに配架されており閲覧もできます。部数に限りはありますが、館内で配布しておりますので、図書館スタッフにお尋ねください。選考結果は次のとおりです。

《特選》 該当者なし

《入選》

- 岩下 真志穂・太田黒 悠・松本 陵亮(経済学科1年)
九州・熊本における集積産業の展望—賃金及び労働生産性向上への指針—
- 清田 真沙美(国際経済学科4年)
消費者の危険—不安な製品(モノ)の安全—
- 菊地 美沙・鳥山 将太(国際経済学科2年)
韓国と日本の物価比較—賃金率による購買力評価分析—
- 永江 真智子(英米学科4年)
イギリスと日本の子どものしつけ方と考え方
- 松岡 里佳(英米学科3年)

“The Great Stone Face”における「詩人」の罪によって啓示された予言の真意

《佳作》

- 香山 舞(ホスピタリティ・マネジメント学科3年)
UD立県を目指す熊本の現状の中で思うこと—ハートがひびきあやさい風を—
- 村上 文香(ホスピタリティ・マネジメント学科3年)
おもてなしの心 ホスピタリティ—地域活性化におけるホスピタリティの役割—
- 神上園 周平(国際経済学科4年)
パリに依存する日本のファッション
- 李世恩(英米学科5年)
Phonological Substitutions by Korean and Japanese ESL Speakers and their Role in Stereotypes of each other's English.

閉架図書の蔵書点検

平成20年2月18日から10日間の日程で地下書庫の蔵書点検を実施しました。一昨年から着手した蔵書点検の一環です。今年度からは40万冊近くある地下書庫が対象となるので、まずは休館もしないで通常業務と並行してできる仕様であることと、今後の蔵書点検のあり方を探る意味で0類(総記)、1類(哲学)、2類(歴史)のおよそ6万冊を試行しました。以下、今回の結果と今後の展望をレポートします。

仕様と結果

端末2台で4人の学生アルバイトを確保し、リアルタイムで資料IDを読み込み1冊ずつ「在庫」を確認していきました。所在が合わない図書が日々数冊はありましたが、これといった事故本はなく適宜データのメンテナンスを行い、最終的に0類から2類までの6万冊に対して16冊が不明図書となりました。さすがに閉架部分ですので図書の動きは少なく、きちんと管理されていることが実証されました。不明図書は貸出時の不手際で記録が残っていないのか、書庫内で誤配架になっていると思われる。 (開架部分である、平成17年度の1階一般図書は11万冊に対して330冊、18年度の1階・2階・3階図書は5万冊に対して130冊でした。)

今後の展望

ほとんど不明本が出ないのに点検をしていくのかという疑問は置いておくとして、残りの30数万冊はどう処理すべきでしょうか。端末1台で1日3000冊として100日、2人の人員を必要としますし、地道に日々の作業を遂行していくことができるでしょうか。人員を動員して2~3日で一気に資料IDを採取して、蔵書データと照合する専門業者もあるのですが、資料IDがOCRとバーコードの混在であることや照合後の図書館側の調査・メンテナンスの処理に不安があり二の足を踏んでいます。どちらにしてもここ2年では完了しなくてはなりません。

(奉仕課長 津村秀夫)

図書館シネマ上映作品

平成19年度は以下の作品を上映しました。

春学期

	日時	タイトル
第1回	4月11日 12:00~	夜回り先生 2 水谷修からのメッセージ
第2回	4月26日 12:20~	プライドと偏見
第3回	5月11日 12:20~	水俣病 患者さんとその世界
第4回	5月23日 12:20~	裁判員制度 もしもあなたが選ばれたら
第5回	6月6日 16:30~	ブルー・オブ・マイ・ライフ
第6回	6月25日 16:30~	僕の、世界の中心は、君だ。

秋学期

	日時	タイトル
第7回	10月3日 15:00~	おばあちゃんの家
第8回	10月10日 15:00~	ウィニング・パス
第9回	10月24日 15:00~	アカシアの道
第10回	11月7日 15:00~	パッチギ!
第11回	11月14日 15:00~	佐賀のがばいばあちゃん
第12回	11月21日 15:00~	博士の愛した数式
第13回	12月5日 15:00~	壬生義士伝
第14回	12月12日 15:00~	ムーミン谷の彗星
第15回	12月19日 15:00~	クリスマス休戦

図書館では、月に2回定期的に映画上映会を行っています。地下AVホールは音響設備も整っており、大画面で迫力ある映画を楽しむことができます。ぜひ一度、お越しください。

学生懸賞論文募集！

(募集要項は以下のとおり)

- ◆テーマ：自由論題
- ◆応募資格：本学学生(大学院生、研究生、科目等履修生を除く)
- ◆応募期限：平成20年9月30日(火) 17:00
- ◆提出先：図書館4階 事務室
- ◆審査方法：図書館委員会と図書館委員会の委嘱による専門教員の審査にもとづき決定する。
- ◆懸賞金：特選＝賞状および賞金10万円
 入選＝賞状および賞金5万円
 佳作＝賞金2万円
 奨励賞＝図書カード5千円
 ※ 入賞者(特選・入選)の論文は、「学生懸賞論文集」として発行する。
- ◆入賞発表：12月上旬(予定)に館内掲示板ならびにホームページにて発表する。
- ◆表彰式：12月中旬(予定)。入賞者(特選・入選)による報告会を開催。
- ◆応募上の注意
 - ①応募は、一人1篇(共同執筆も可)とし、未発表の論文とする。

- ②パソコンまたはワープロ(A4用紙)で作成し提出すること。
 ※和文・中国文・韓国文:1行40字×40行、英文:1行70字×28行
- ③応募論文は返却しない。
- ④提出の際は、「平成20年度学生懸賞論文応募票」を添付すること。

◆執筆要領

- ①論文には必ず表紙をつけ、論題のみを記入すること。
 なお、表紙は枚数に含まない。
- ②和文：原稿用紙(400字詰め)8000字～16000字以内。
 英文：横書き・ダブルスペースで上記字数に該当する程度。
 中国文・韓国文の場合、上記字数に該当する程度。
- ③和文以外の場合には、和文で作成した内容の要約(400字～800字程度)を別紙にて提出すること。ただし、この要約は枚数に含まない。
- ④著書や新聞等の文献から引用した場合は、出典(著者名・タイトル・発行所名・発行年月・頁等)を明記すること。
 ただし、ホームページ上の資料を利用した場合はURLとアクセスした日付を明記すること。
- ⑤図表等は枚数に含まれるが、それらを引用した場合は出所を明記しておくこと。
 ※不明な点がありましたら遠慮なくお問い合わせください。

図書館ガイダンスの案内

図書館では新入生を対象とした「図書館ガイダンス」、2年次以上を対象とした「ステップアップガイダンス」を実施しています。充実した大学生活を送るため、この機会に図書館活用法をしっかりマスターしましょう。

	新入生(初歩的な図書館の使い方を説明します)	2年次以上(1年次も含む)
学部学生	<図書館オリエンテーション> 実施日：平成20年4月4日(金) 時間・場所：新入生オリエンテーションプログラムを参照 内容：図書館紹介ビデオ『A Library Story』の上映	※論文やレポート作成のための資料収集、検索を実施します <ステップアップガイダンス> 時期：5月中旬～ 内容：DVD『情報の達人』の上映、データベースを使った資料収集など 実施形態：授業科目ごとに実施 (担当の先生から予告があります)
	<図書館ガイダンス> 実施時期：平成20年4月中旬～6月初旬 時間・場所：担当の先生から予告があります 内容：蔵書検索の実習、館内ツアーなど	
大学院	実施日：平成20年4月3日(木) 時間・場所：午後2時～ 図書館地下AVホール 内容：データベースの紹介、書庫利用の説明など	図書館2階レファレンスカウンターで随時受付

一般利用の皆様へ

図書館利用者カード発行のお知らせ

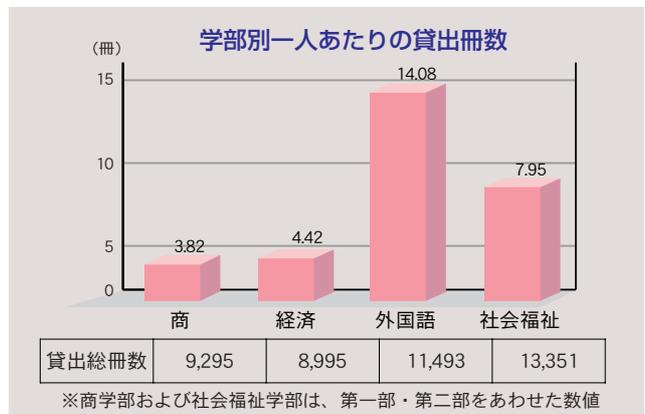
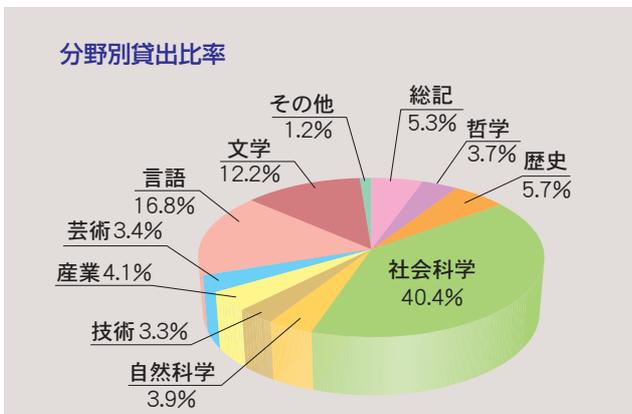
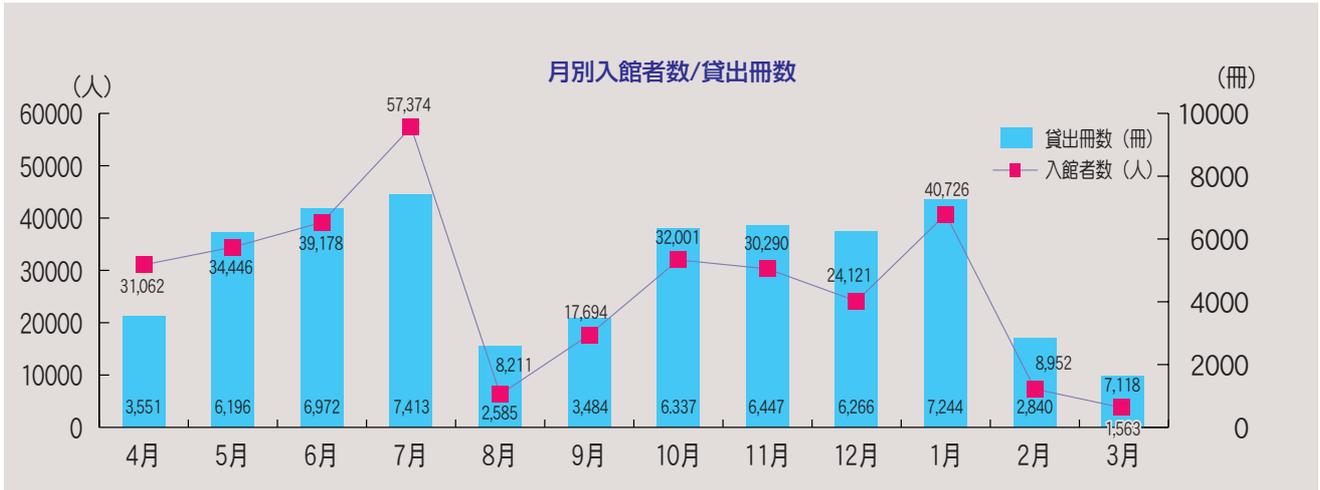
平成20年度の図書館通年利用を希望される方は、以下の要領で図書館利用者カードの発行手続きをお取りください。

- 手続期間**
- ①卒業生ならびに在学生の保護者・・・平成20年4月～翌年2月末まで。
 - ②上記以外の一般の方・・・4月～5月、10月
- ※②に該当する方については、発行手数料1,000円が必要となります。

- 受付時間** 月曜日～土曜日 9:00～21:00
- 必要書類** 本人の証明と住所確認ができるもの(運転免許証・健康保険証・パスポートなど)
 ※卒業生カードをお持ちの方は、手続きの際にカードを必ずご提示ください。
- 有効期限** 平成21年3月31日
 ※新規で申し込まれたカードは、後日郵送となります。

平成19年度 利用統計

平成19年度の入館者数・貸出冊数の統計は次のとおりです。



(平成20年3月31日現在)

～目録係より～

目録のカタチも随分変わった。現在は、OPAC (Online Public Access Catalog) といわれオンライン目録だが、その昔は冊子体に手書きをした目録や、紙のカードに和文・英文タイプライターで作成していた。図書館に異動してきた頃は、すでにコンピュータへの入力だったが、本学の基準に従って一冊ずつ先輩方に習って覚えていた。16・17世紀に出版された貴重図書を処理した時は、美しい装丁や標題紙を見ているだけでも楽しいし、故松田道雄氏直筆の書簡を手にした時は、作者の想いや感情(思想)を感じ取ってワクワクしながら処理したことを覚えている。

ご存知のように、目録とは図書に関する情報を規則にそってまとめたものである。

目録は2つのデータで成り立っていて、1つは、本の中の書名や著者や出版社・出版年などの『書誌』データと、もうひとつはその本が図書館のどこにあるのか探すときに必要な請求記号や資料IDなどの情報からなる『所蔵』のデ

ータで成り立っている。本の情報を確実に捉え、正確に入力しなければならない。

さらに、洋書の場合は言語処理能力も必要になってくる。英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語などに加えハンゲル語表記の資料も増えている。分類を付与する場合も、本の内容・目次等より主題を理解し、確実に付与することは難しいものだ。

本の装備についても、本に貼るラベルや帯出票の位置も決まっている。また、データを入力する際には区切り記号、あらゆる記述法が細かく決まっている。という、規則ばかりで窮屈な気もするが、やはりある一定の法則に従って、質の高いデータを維持することが大事であると考え、日々の業務に取り組んでいる。今後も、大学図書館の役目として快適な閲覧空間とサービスを提供すると同時に、文献の収集や蓄積、保存、さらに公開にむけて努力していきたい。

奉仕課 上妻 圭子

図書館日誌

平成19年12月～平成20年3月

見学者

- 12. 5 芥明高等学校 30名
- 20. 1.25 松橋養護学校 25名
- 2. 14 松島商業高等学校 61名
- 2. 26 鹿本高等学校 15名
- 3. 17 大津高等学校 126名
- 3. 26 江原会、有志の会 10名

行事

- 19. 12. 12 学生懸賞論文表彰式
- 12. 24 休館(振替休日)
- 12. 27～20. 1. 6
休館(年末年始休業)
- 1. 14 休館(成人の日)
- 1. 19～20
休館(大学入試センター試験)
- 1. 31 図書館委員会
- 2. 1 春休み長期貸出(～3/24)
- 2. 9～13
休館(一般入試A日程)
- 2. 18～29
蔵書点検
- 3. 6 休館(一般入試B日程)
- 3. 20 休館(春分の日)
- 3. 24 図書館委員会
- 3. 31 休館(年度末整理)

図書館でできること

この4月から熊本学園大学図書館で働くこととなりました。私は本学の卒業生ではありませんので、ぴっかぴかの「熊学一年生」。やっと、図書館の周りにたくさんある〇号館が分かってきたくらいです。

さて、今日は図書館のオススメをしてみたいと思います。図書館を使えば、レポートや卒論が書けます。試験勉強ができます。色々な資格が取れます。留学の準備ができます。サークルで勉強会を開けます。CDを聴いたり、映画のビデオやDVDを見たり、と楽しむこともできます。図書館でできないことは、飲食と携帯電話の使用と居眠りと、スタディールーム以外でのおしゃべりくらいです。それさえ守れば、76万冊を超える本を使って多くのことができるのです。

「図書館を使うか、使わないか」は学生の皆さんの自由です。図書館を使いなさい、と強要することはできません。ですが、卒業生ではなく、他の学校図書館や公立図書館も見た私が、太鼓判を押します。うちの図書館はすごく充実しています。その証拠に、卒業生や一般の方々から「この図書館でなければ」と大勢来館されます。そんな大人気の図書館を使わないなんて、もったいない!!と私は思います。

やりたい事があったら図書館へ。ヒマな時にも図書館へ。そして、図書館でわからないことがあったら、私たちスタッフへ質問してみてください。新米の私も、皆さんの質問に答えられるよう、皆さんと一緒に日々勉強していきたいと思っています。

奉仕課 廣松 亜矢子

編集後記

新しい季節を迎え、図書館報も新たに生まれ変わりました。新しい『大楠』はいかがでしたか?これまでの蓄積された情報や紙面作成のノウハウを生かし、手に取りやすく、読みやすい紙面作りを心掛けました。まだまだ未熟ですが、これからもっと内容の充実を図りつつ、情報を発信して参りますのでご愛読、ご声援をよろしくお願いいたします。



Kumamoto Gakuen University Library bulletin

大楠 第42号 2008年4月25日

編集・発行／熊本学園大学付属図書館 〒862-8680 熊本市大江2丁目5番1号 TEL (096)364-5161 FAX (096)362-5967 <http://www.lib.kumagaku.ac.jp/>

